

Skip UP!

2013年6月 6日

発行責任者 森川 学

NO. 61 編集責任者 情 宣 部

2013年度夏季手当第4回交渉

会社：平成13・14年度実績（1.5ヶ月）を切り込まざるを得ない

中央本部は、本日10時より第4回夏季手当交渉を行い、会社は現時点における夏季手当に対する考えを明らかにしました。

《会社》

- ①平成24年度は自然災害が多発した。コストダウンを行い4億円の経常利益を計上したが、鉄道事業部門は6億円悪化し、78億円の赤字となった。
- ②本業である鉄道事業部門が悪化したことは大きな問題である。赤字幅の減少を内外から強く求められている。平成25年度は鉄道事業部門の収支改善を行う。
- ③総物流量は減少し収入が伸び悩んでいる。収入拡大に取り組むがコストも削減しなければならない。
- ④本日時点、平成13年、14年度の支給実績を切り込まざるを得ないと考えている。

俺たちだけに犠牲を強いる 会社ふざけるな!

青年部は、『鉄道事業部門の赤字は経営陣の責任だ！私たちは仕事量やプレッシャーが増えていて、何で手当が下がるんだ！ふざけるな！！家のローンを持っている青年部員も沢山いて、1.5ヶ月を切り込んだら払えない！会社は私たちから住む家まで奪うのか！？JR貨物で働く私たちは普通の、当たり前前の生活も送れないのか！』と会社に切実な声をぶつけましたが、会社は「主張は受け止める」と無責任でふざけた態度に終始しました。

最後に「要求である2.5ヶ月を出せ！会社の考えは絶対に許さない！」と突き付けました。

皆さん！！ 会社は今まで「収入計画未達」を理由に手当の抑制を行ってきましたが、今回は「鉄道事業部門の赤字幅の拡大」を理由にしています（怒）！鉄道事業部門の赤字は紛れもなく会社経営陣の責任であり、今まで責任を持って解決しようとしなかったからです。その責任を私たちに押し付けています！こんな会社経営陣を許せますか？

今の経営陣では私たちの将来は無い！

全青年部員で会社に向かって怒りの声をあげよう！！